



山口県内経済の動き

山口県内景気は、一部で足踏みが見られるものの、
総じて緩やかに回復している

現 状



輸出額は弱めの動きながら、生産は化学等が上昇し全体としては横ばい圏内の動き。観光は持ち直しの動きが一服したが、個人消費は家電量販店、ドラッグストア販売額等が前年比プラスになるなど着実に持ち直し。有効求人倍率は4ヶ月連続で1.3倍超となり、実質賃金も前年比プラス。住宅建築や公共工事が弱めの動きとなるが、設備投資は増加傾向にあるなど、県内景気は一部で足踏みが見られるが総じて緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行き是不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
		方向	
雇用情勢		→	有効求人倍率は4ヶ月連続で1.3倍超（4月）、実質賃金は4カ月連続で前年比プラスとなる（3月）。
個人消費		→	百貨店・スーパー販売額は2ヶ月連続で前年を下回ったものの、家電量販店やドラッグストア販売額は前年比プラスで、全体としては着実に持ち直し（4月）。
観 光		↘	主要観光施設の利用者・宿泊者数は、持ち直しの動きが一服（4月）。
住宅建築		↘	貸家、分譲ともに前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている（4月）。
公共工事		→	公共工事請負金額は、市町からの発注が増加し、2ヶ月ぶりの前年比プラスとなるが、全体として弱めの動きとなっている（4月）。
倒 産		→	負債総額は2ヶ月連続で前年比プラスとなるも、全体としては横ばい圏内で推移している（4月）。
生産活動		→	鉱工業生産指数は化学等の上昇もあり、2ヶ月ぶりに前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（3月）。
輸 出		→	輸出額は5ヶ月ぶりに前年を上回るも、全体として弱めの動きとなっている。貿易バランスは39ヶ月連続の出超（4月）。
設備投資		↗	2026年度の設備投資計画額は、6年連続の前年比プラス（当研究所が5月に実施した「企業経営・設備投資動向調査」による）。

*「景況判断」は、現在の水準を5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）で表示

「方向」は、前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）。好転・悪化における実線の矢印は、天気マークの変化を伴うもの、点線は天気マークが変化しないもの。

＜主要経済指標の動き＞（前年同月との比較）

	2025年									2026年			
	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
有効求人倍率	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
所定外労働時間（製造業）	●	●	●	○	●	—	●	●	●	●	●	●	
百貨店・スーパー販売額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
乗用車新車販売台数	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○
新設住宅着工戸数	○	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●
公共工事請負金額	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	●	○
企業倒産件数	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	—	●
鉱工業生産指数	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	
輸出額	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○

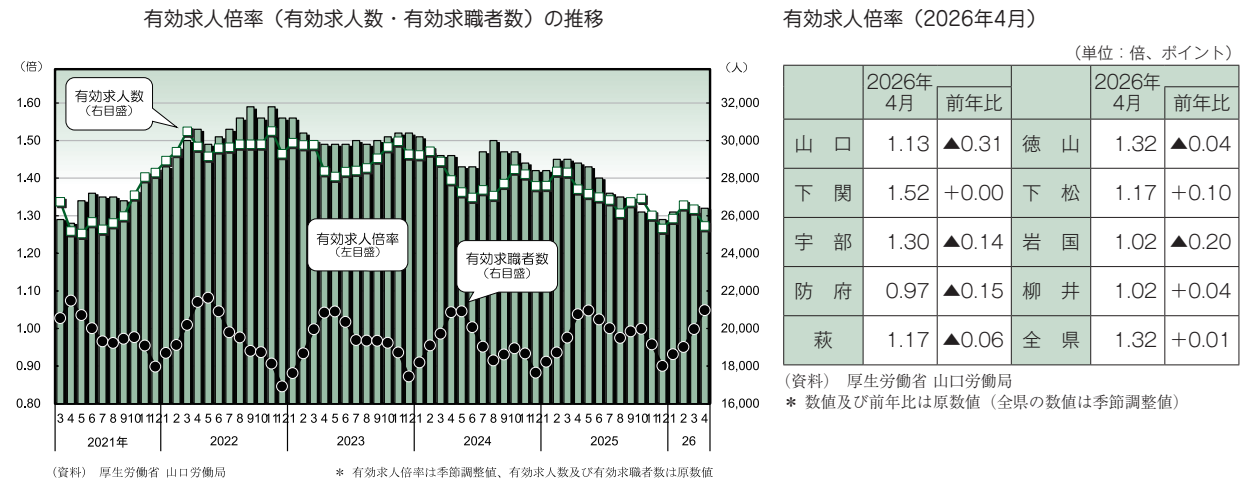
○：好転 ●：悪化 —：横ばい
* 鉱工業生産指数は原指数、所定外労働時間は事業所規模5人以上、百貨店・スーパー販売額は全店舗、乗用車新車販売台数は軽乗用車含む、有効求人倍率は原数値

1

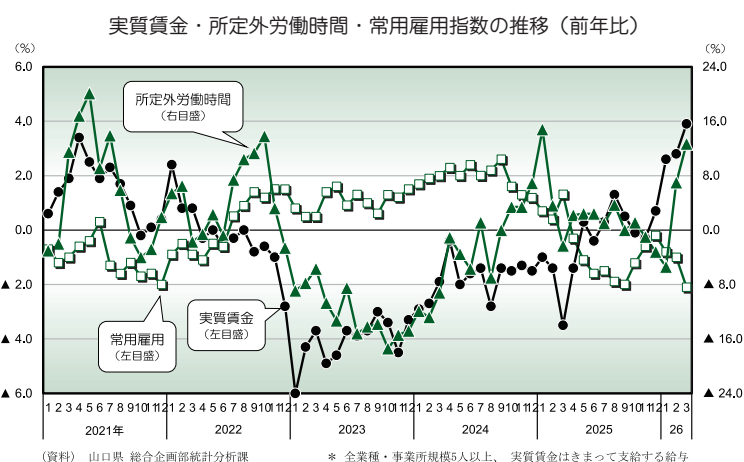
雇用

有効求人倍率は4ヶ月連続で1.3倍超、実質賃金は前年比プラスが継続

有効求人倍率（4月：前月比+0.01ポイント、季節調整値）は1.32倍と4ヶ月連続で1.3倍超となる。**新規求人数**（4月：前年比▲5.2%、パートを含む原数値）が12ヶ月連続の前年比マイナス。業種別にみると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業等で減少。**職安別の有効求人倍率**（4月、パートを含む原数値）をみると、下関が1.52倍で最も高く、防府が0.97倍で最も低い水準。



実質賃金（3月：前年比+3.9%、全業種・事業所規模5人以上）は4ヶ月連続で前年比プラス（名目賃金：同+5.3%）。**所定外労働時間**（3月：同+12.7%）は前年比プラスの一方、**常用雇用**（3月：同▲2.1%）は前年比マイナス。



実質（名目）賃金・所定外労働時間・常用雇用指数
（2026年3月、26年1-3月平均）（単位：指数、%）

	2026年 3月	前年比	2026年 1-3月	前年比
名目賃金	111.6	+5.3	110.5	+4.1
実質賃金	96.9	+3.9	96.4	+3.1
所定外労働時間	105.4	+12.7	99.3	+4.5
常用雇用	99.7	▲2.1	100.7	▲1.3

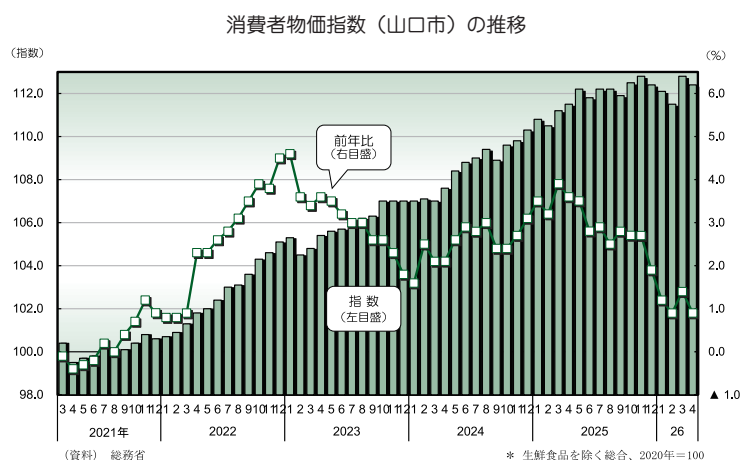
（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 全業種、事業所規模5人以上 名目・実質賃金はきまって支給する給与

2

物 価

生鮮食品を除く総合指数は56ヶ月連続の前年比プラス

消費者物価指数（生鮮食品除く）（4月：前年比+0.9%）は56ヶ月連続で前年を上回り、依然高い水準を維持している。費目別では、米や野菜等が値上がりした「食料」（同+2.9%）、「家具・家事用品」（同+2.1%）等が前年比プラスとなった。



消費者物価指数（2026年4月、26年1-4月平均）

（単位：指数、%）

	2026年 4月	前年比	2026年 1-4月	前年比
食料	128.9	+2.9	130.2	+3.6
住居	104.7	+0.4	104.5	±0.0
光熱・水道	113.5	+0.6	110.5	▲0.7
家具・家事用品	135.2	+2.1	131.3	+2.3
被服及び履物	111.1	▲1.0	109.6	▲0.5
保健医療	105.5	▲0.5	105.9	±0.0
交通・通信	103.0	▲0.3	102.9	▲0.3
生鮮食品除く総合	112.4	+0.9	112.2	+1.1

（資料）総務省

* 2020年=100

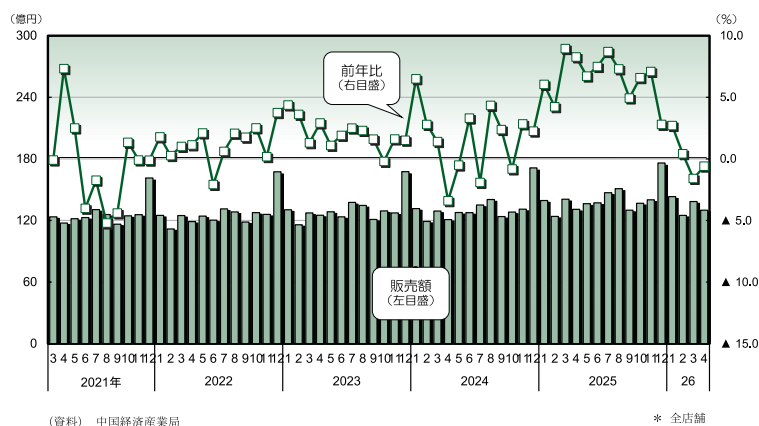
3

消費

家電量販店・ドラッグストア販売額等が前年比プラス

百貨店・スーパー販売額（4月：前年比▲0.6%）は2ヶ月連続で前年を下回った。商品別にみると、**家庭用品**（同+7.2%）は前年比プラスとなるが、**衣料品**（同▲6.3%）、**身の回り品**（同▲4.7%）、**飲食料品**（同▲0.8%）は前年比マイナスとなり、全体では前年を下回る水準となった。

百貨店・スーパー販売額の推移



百貨店・スーパー販売額
（2026年4月、26年1-4月累計）

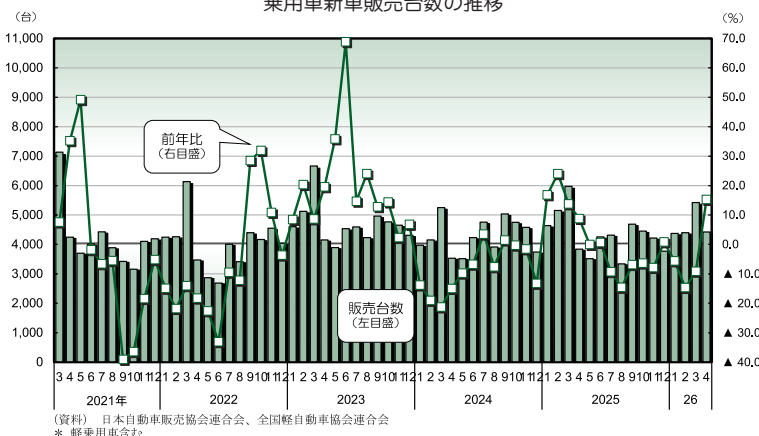
	2026年		2026年	
	4月	前年比	1-4月	前年比
衣料品	9	▲6.3	37	▲4.9
身の回り品	3	▲4.7	14	▲0.3
飲食料品	99	▲0.8	411	+0.1
家庭用品	6	+7.2	26	+5.2
その他	12	+2.6	47	+2.9
合計	130	▲0.6	536	+0.2

（資料）中国経済産業局

* 全店舗

乗用車新車販売台数（軽乗用車含む）（4月：前年比+15.2%）は4ヶ月ぶりに前年比プラス。軽乗用車（同▲2.7%）は前年を下回るも、普通車（同+21.8%）、小型車（同+34.7%）はそれぞれ前年を上回った。**家電量販店販売額**（同+16.7%）、**ドラッグストア販売額**（同+1.7%）は前年比プラスとなったが、**ホームセンター販売額**（同▲4.3%）、**コンビニエンスストア販売額**（同▲0.8%）は前年比マイナスとなった。

乗用車新車販売台数の推移



乗用車新車販売台数
（2026年4月、26年1-4月累計）

	2026年		2026年	
	4月	前年比	1-4月	前年比
普通車	19	+21.8	69	▲6.9
小型車	12	+34.7	42	▲1.0
軽乗用車	14	▲2.7	76	▲5.4
合計	44	+15.2	186	▲5.0

（資料）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

専門量販店等販売額
（2026年4月、26年1-4月累計）

	2026年		2026年	
	4月	前年比	1-4月	前年比
家電量販店	30	+16.7	135	+5.9
ホームセンター	30	▲4.3	102	▲2.8
ドラッグストア	85	+1.7	332	+1.7
コンビニエンスストア	100	▲0.8	399	+0.6

（資料）経済産業省

4 観光 主要観光施設の利用者・宿泊者数は持ち直しの動きが一服

主要観光施設利用者・宿泊者数（4月）をみると、海響館の来館者数（前年比全増）、松陰神社の入込客数（同+11.0%）は前年比プラスとなるが、錦帯橋の渡橋者数（同▲13.4%）、秋芳洞の入洞者数（同▲5.2%）はそれぞれ前年比マイナスとなる。温泉地の宿泊者数についても、湯田温泉の宿泊者数（同▲1.1%）、湯本温泉の宿泊者数（同▲3.7%）はともに前年比マイナスとなった。

観光施設利用者数（2026年4月、26年1-4月累計）

（単位：人、%）

	2026年 4月	前年比	2026年 1-4月	前年比
海 響 館	43,310	全増	181,853	全増
錦 帯 橋	62,201	▲ 13.4	125,406	▲ 3.4
秋 芳 洞	28,366	▲ 5.2	77,342	+3.6
松 陰 神 社	30,393	+11.0	109,193	+5.3

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、萩市商工観光部観光課

旅館の宿泊者数（2026年4月、26年1-4月累計）

（単位：人、%）

	2026年 4月	前年比	2026年 1-4月	前年比
湯 田 温 泉	34,476	▲ 1.1	113,166	+0.2
湯 本 温 泉	15,817	▲ 3.7	57,799	+0.9

（資料）山口県 総合企画部統計分析課

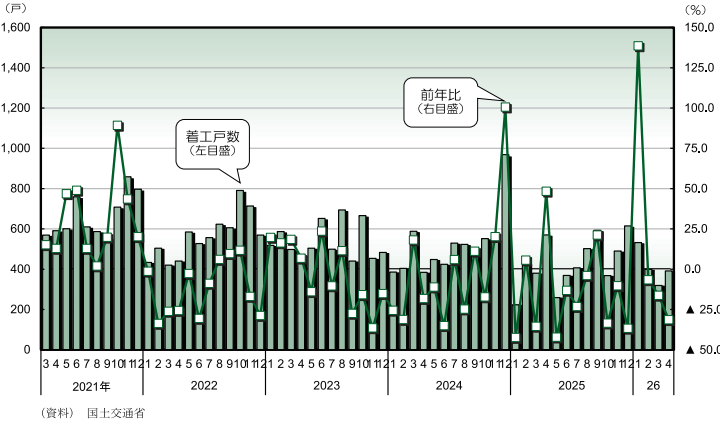
* 温泉旅館組合加盟旅館の宿泊者数（修学旅行生を含む）

* 海響館は2024年12月～2025年7月は改装のため休館

5 建設 住宅建築は3ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、公共工事は前年比プラス

新設住宅着工戸数（4月：前年比▲31.4%）は3ヶ月連続で前年比マイナス。利用関係別では、持家（同+2.1%）は前年比プラスとなったが、貸家（▲18.9%）、分譲（同▲73.7%）は前年比マイナスとなった。

新設住宅着工戸数の推移



（資料）国土交通省

新設住宅着工戸数（2026年4月、26年1-4月累計）

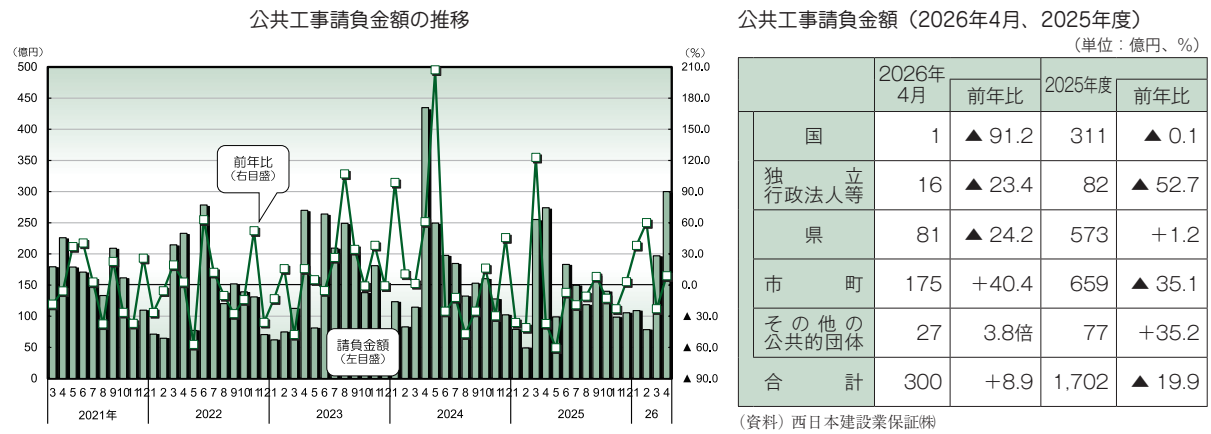
（単位：戸、%）

	2026年 4月	前年比	2026年 1-4月	前年比
持 家	194	+2.1	797	+6.8
貸 家	142	▲ 18.9	549	+8.5
給 与	1	全増	2	▲ 25.0
分 譲	54	▲ 73.7	238	▲ 15.1
マンション	0	▲ 100.0	55	▲ 58.3
合 計	391	▲ 31.4	1,641	+2.6

（資料）国土交通省

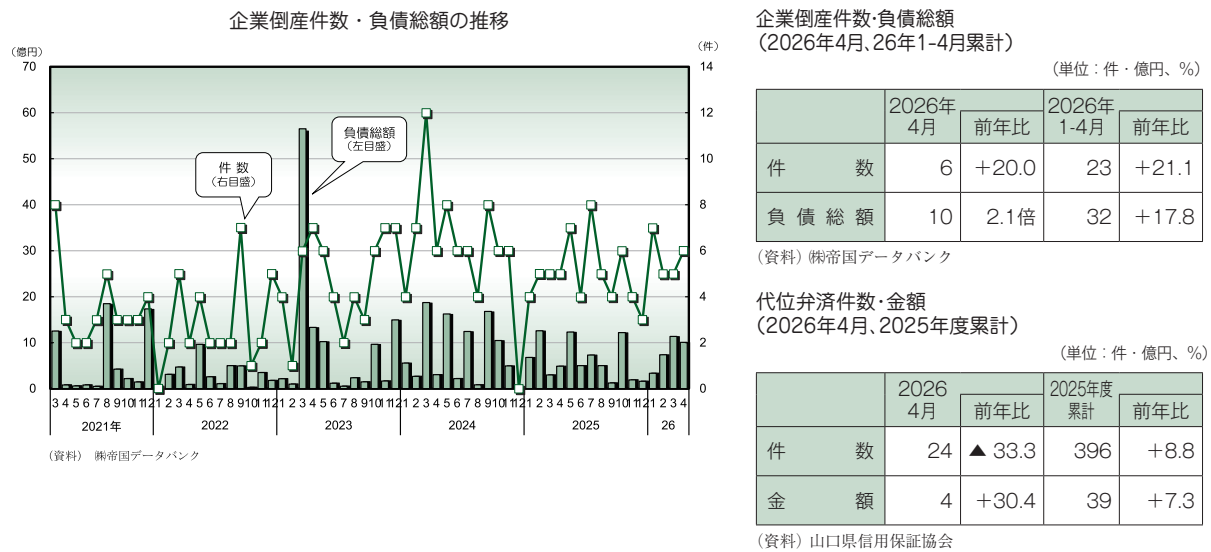
* 給与は社宅や官舎等

公共工事請負金額（4月：前年比+8.9%）は2ヶ月ぶりの前年比プラス。発注者別では、市町（同+40.4%）は前年比プラスとなるが、国（同▲91.2%）、県（同▲24.2%）は前年比マイナスとなる。請負総額2億円以上の大型工事は、件数が16件（同▲18件）、対象額が約109億円（同▲53億円）と前年比マイナスとなる。



6 倒 産 負債総額は2ヶ月連続で前年比プラスとなる

企業倒産（4月）は、件数が6件（前月比+1件、前年比+1件）で、負債総額は10億1千万円（前月比▲1億3千万円、前年比+5億2千万円）となり、2ヶ月連続で前年比プラスとなる。代位弁済（4月）は、件数（前年比▲33.3%）は前年比マイナスとなるも、金額（同+30.4%）は前年比プラスとなった。

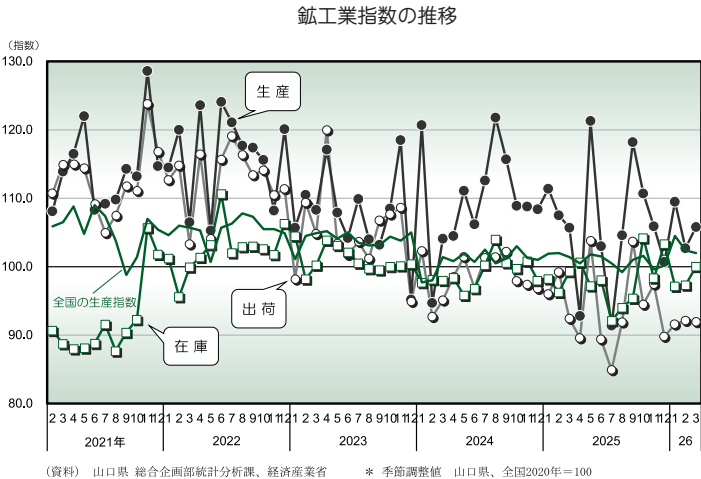


7

生産

鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比プラス

鉱工業生産指数（季節調整値）（3月：前月比+3.0%）は105.8で2ヶ月ぶりに前月比プラスで、前年比も+1.6%と5ヶ月ぶりにプラスとなる。**出荷指数**（同）（3月：同▲0.2%）は91.9で3ヶ月ぶりの前月比マイナス。**在庫指数**（同）（3月：同+2.8%）は100.0で2ヶ月連続の前月比プラスとなる。



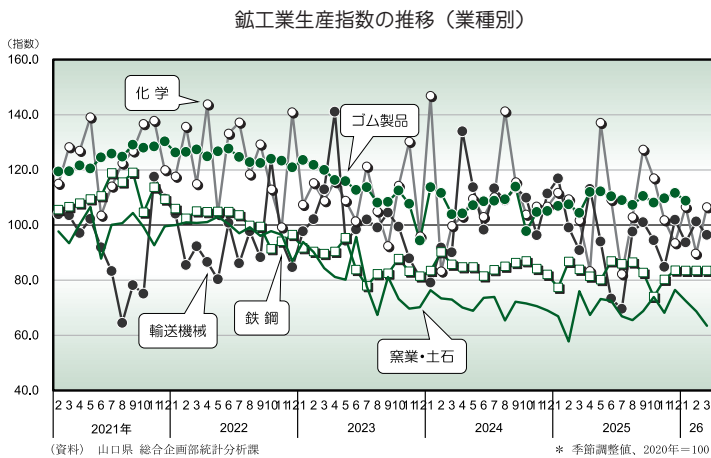
鉱工業指数（2026年3月、26年1-3月平均）

（単位：指数、%）

		2026年		2026年	
		3月	前年比	1-3月	前年比
生産	山口県	105.8	+1.6	106.0	▲1.9
	全 国	102.0	+2.4	103.0	+1.2
出荷	山口県	91.9	+1.2	91.9	▲4.0
	全 国	99.7	+2.2	100.8	+1.2
在庫	山口県	100.0	+0.6	98.2	+0.2
	全 国	96.3	▲5.3	97.4	▲4.2

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省
* 指数は季節調整値、前年比は原数値
（山口県、全国2020年=100）

業種別に指数（季節調整値、2020年=100）の推移をみると、**輸送機械**（前月比▲4.8%）は前月比マイナスとなるも、**鉄鋼**（同+0.1%）、**化学**（同+18.7%）は前月比プラスとなる。品目別にみると化学では医薬品（同+51.0%）等の生産が上昇した。



鉱工業生産指数
（業種別：2026年3月、26年1-3月平均）

（単位：指数、%）

	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
鉄 鋼	83.5	+0.9	83.5	+1.1
輸 送 機 械	96.4	+9.5	97.1	▲4.9
窯業・土石	63.5	▲15.0	68.2	+1.5
化 学	106.6	+7.0	101.0	▲6.4
ゴム製品	107.5	+2.8	109.3	+2.9

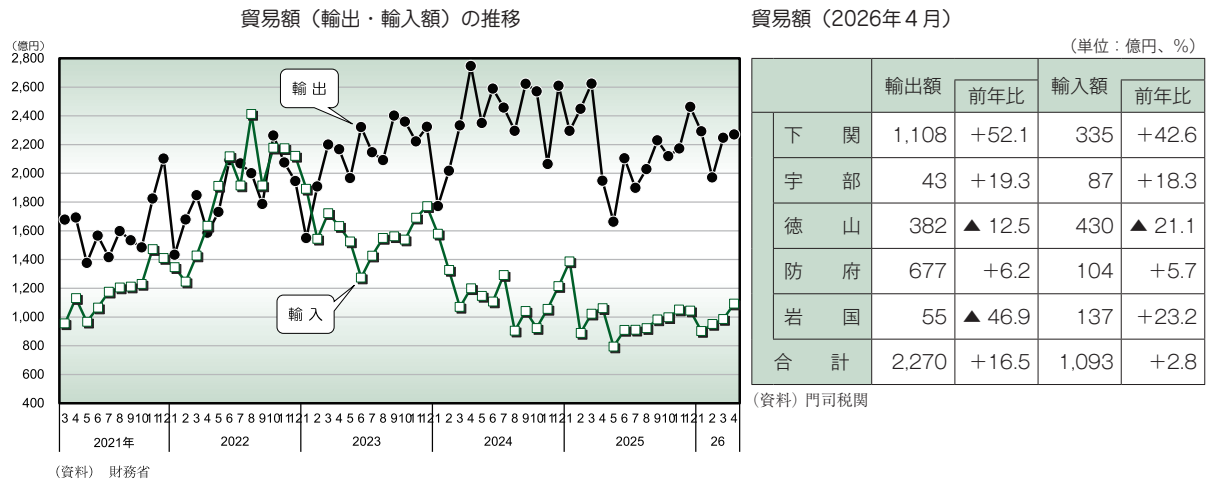
（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 指数は季節調整値、前年比は原数値（2020年=100）

8

貿易

輸出額は5ヶ月ぶりに前年比プラス、貿易バランスは39ヶ月連続の出超

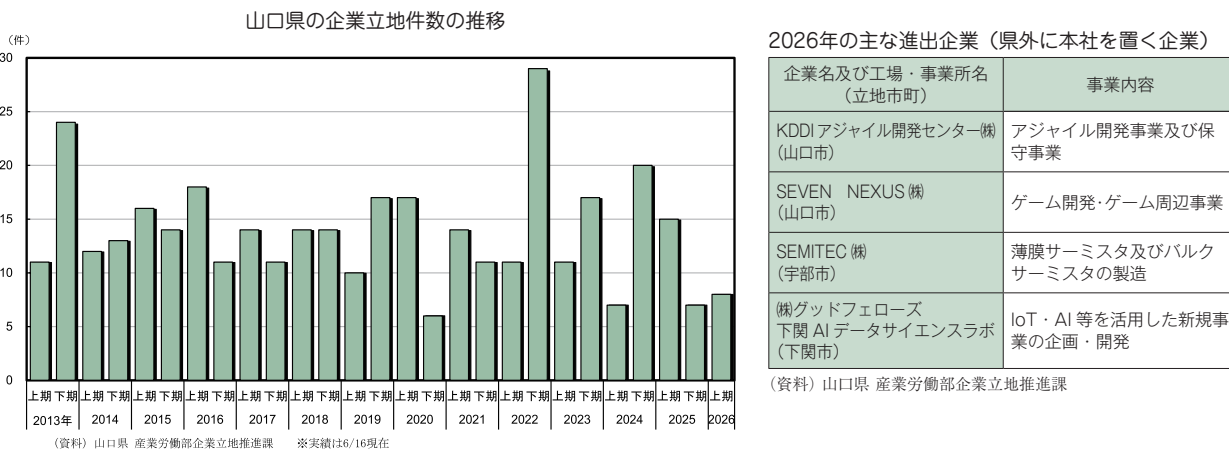
輸出額（4月：前年比+16.5%）は5ヶ月ぶりに前年比プラス。アメリカ、中国、韓国への半導体等製造装置が増加した下関港等で前年を上回った。輸入額（4月：同+2.8%）は2ヶ月ぶりに前年比プラス。カタールからの原油等が減少した徳山港を除く主要4港で前年比プラスとなった。なお、貿易バランス（輸出額－輸入額）（4月：+1,177億円）は39ヶ月連続の出超。



トピックス

企業立地：2026年上半期の企業立地件数は8件と前年から減少

2026年上半期（1－6月）の県内における企業立地件数は合計8件（山口県産業労働部企業立地推進課発表）と前年15件から大幅減少している。下表の事例にある通り、宇部市では、県外企業による薄膜サーミスタの国内第2生産拠点の設置が予定されている。また、県内に本社を置く企業では、下関市で半導体製造装置等の部品製造拠点の建設が予定されている。





広島県内経済の動き

広島県内景気は、緩やかな回復基調にある

現 状



新設住宅着工戸数は2ヶ月連続で前年比マイナスとなり全体として弱めの動き。生産活動は鉱工業生産指数が2ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、全体としては緩やかに持ち直しているほか、輸出額は3ヶ月連続で前年比プラス。雇用情勢が緩やかに改善する下で、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも緩やかに回復するなど、県内景気全体としては緩やかな回復基調にある。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行き是不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

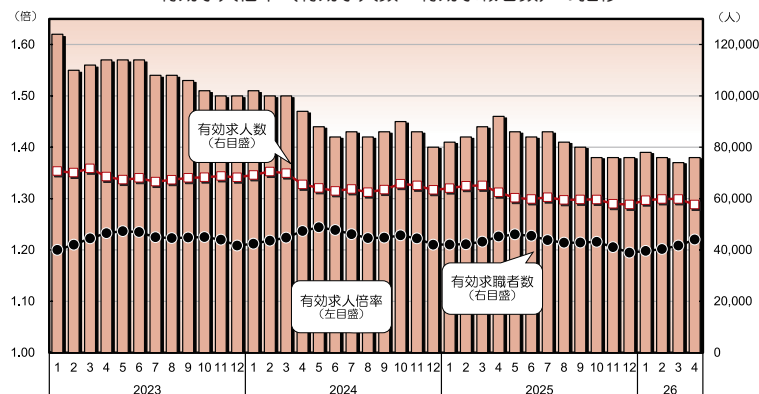
	景況判断		コメント
		方向	
雇用情勢			有効求人倍率が1.38倍と高水準を維持するなど、緩やかに改善している（4月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が10ヶ月連続で前年比プラスとなり、緩やかな回復基調にある（4月）。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月連続で前年比マイナス。貸家が前年比マイナスとなるなど、全体として弱めの動きとなっている（4月）。
公共工事			公共工事請負金額は5ヶ月ぶりに前年比プラスとなり、緩やかに増加している（4月）。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月連続で前月比マイナスとなるが、全体として緩やかに持ち直している（4月）。
輸 出			輸出額は3ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として緩やかに持ち直している（4月）。
倒 産			負債総額は5ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（4月）。

*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）と前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.38倍と高水準を維持(4月:前月比+0.01P 季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移



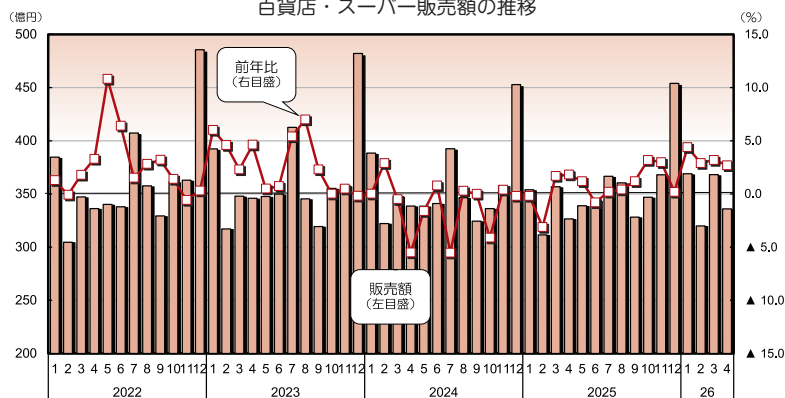
(資料) 厚生労働省 広島労働局

* 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は10ヶ月連続で前年比プラス(4月:前年比+2.7%)

百貨店・スーパー販売額の推移



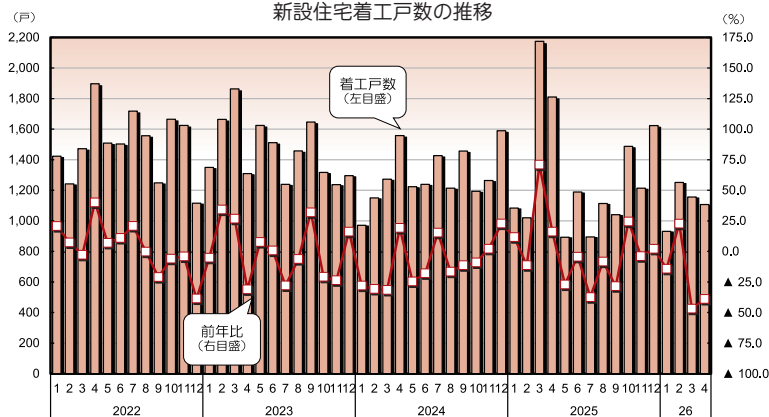
(資料) 経済産業省

* 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月連続で前年比マイナス(4月:前年比▲38.8%)
(持家:同+17.0% 貸家:同▲4.6% 分譲:同+43.0%)

新設住宅着工戸数の推移

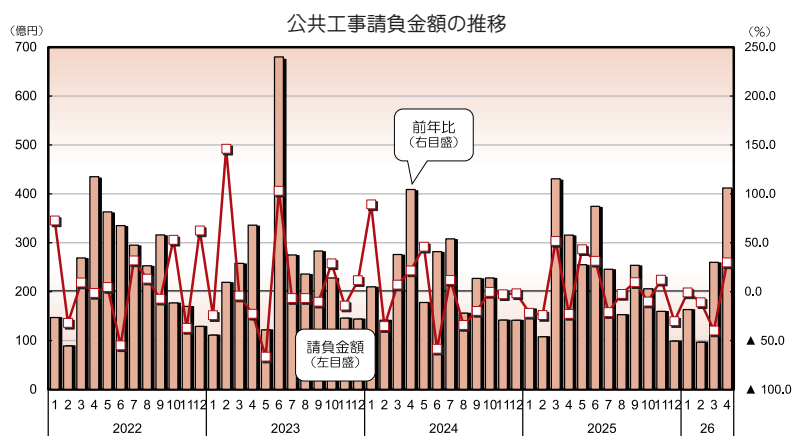


(資料) 国土交通省

4

建設
(公共工事)

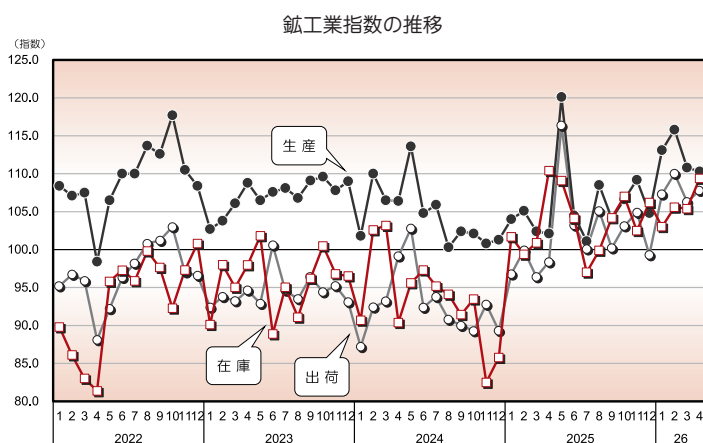
公共工事請負金額は5ヶ月ぶりに前年比プラス（4月：前年比+30.0%）



5

生産

鉱工業生産指数は2ヶ月連続で前月比マイナス（4月：前月比▲0.5% 季節調整値）

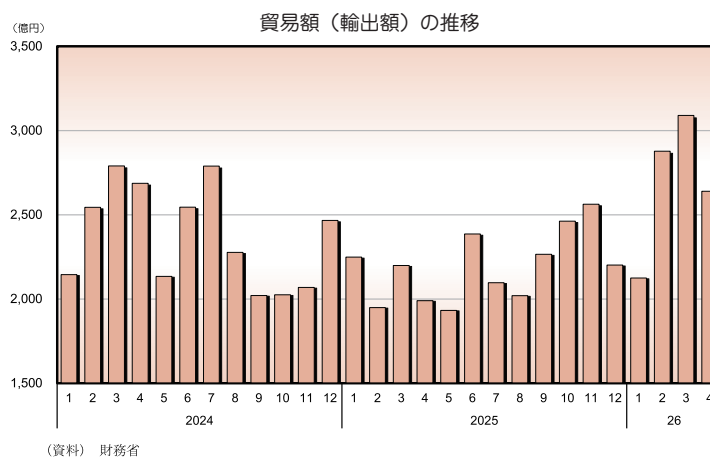


鉱工業生産指数
自動車：前月比+8.4%

6

輸出

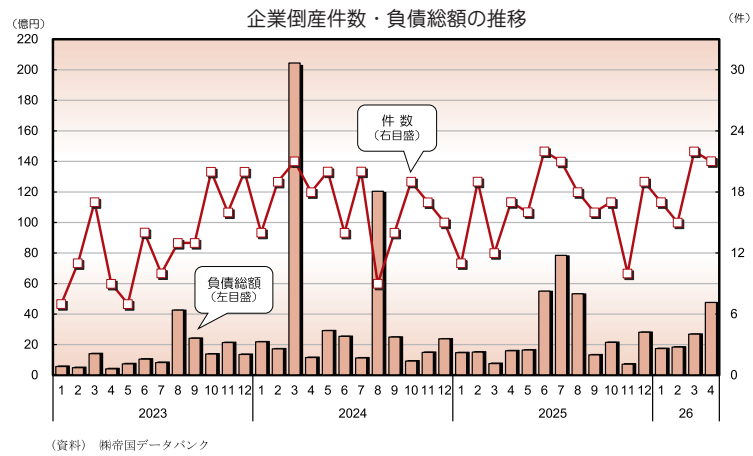
輸出額は3ヶ月連続で前年比プラス（4月：前年比+32.6%）



7

倒産

負債総額は5ヶ月連続で前年比プラス（4月：前年比+3.0倍）





福岡県内経済の動き

福岡県内景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、
全体としては緩やかに回復している

現 状



生産は2ヶ月ぶりに前月比プラスとなり、輸出額も5ヶ月連続の前年比プラス。新設住宅着工戸数は横ばい圏内となるが、個人消費は百貨店・スーパー販売額が4カ月連続で前年比プラスとなり、全体として底堅く推移している。県内景気は一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響を注視する必要があるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
		方向	
雇用情勢			有効求人倍率は1.05倍と前月とほぼ同水準となるも、全体としては緩やかに改善している（4月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額は4ヶ月連続で前年比プラスになり、全体として底堅く推移している（4月）。
住宅建築			新設住宅着工戸数は4ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している（4月）。
公共工事			公共工事請負金額は2ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動き（4月）。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（3月）。
輸 出			輸出額は5ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している（4月）。
倒 産			負債総額は6ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内で推移している（4月）。

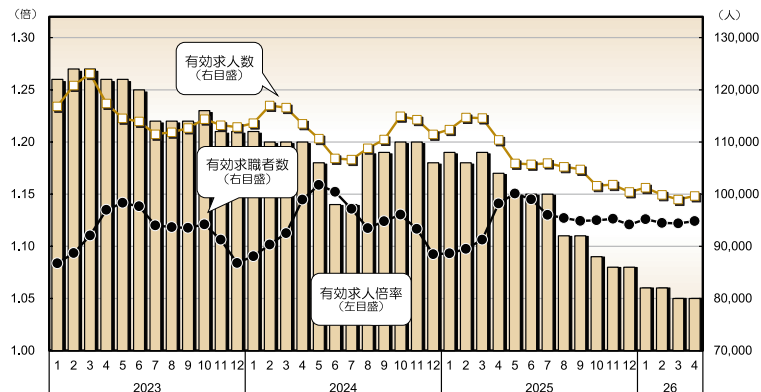
*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）と前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）で表示

1

雇用

有効求人倍率は1.05倍と前月同水準（4月：前月比±0.00P季節調整値）

有効求人倍率（有効求人数・有効求職者数）の推移



（資料）厚生労働省 福岡労働局

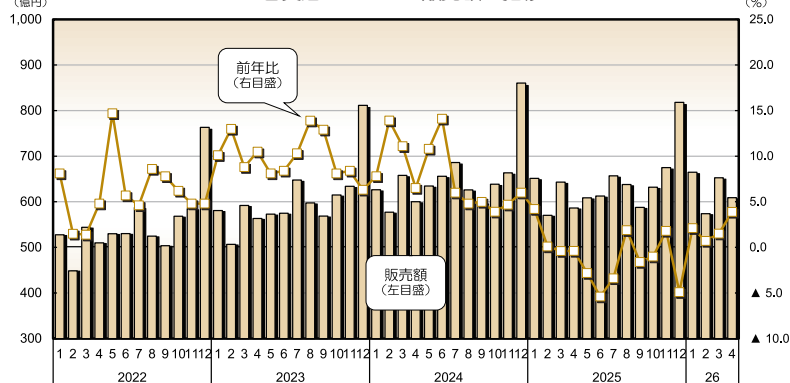
* 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2

消費

百貨店・スーパー販売額は4ヶ月連続で前年比プラス（4月：前年比+3.9%）

百貨店・スーパー販売額の推移



（資料）経済産業省

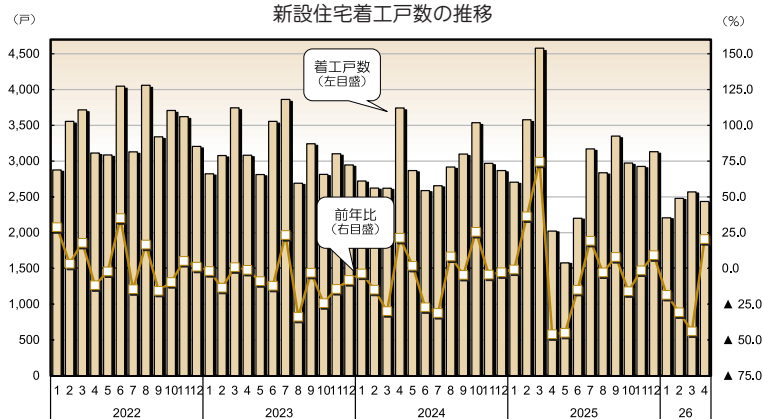
* 全店舗

3

建設 (住宅)

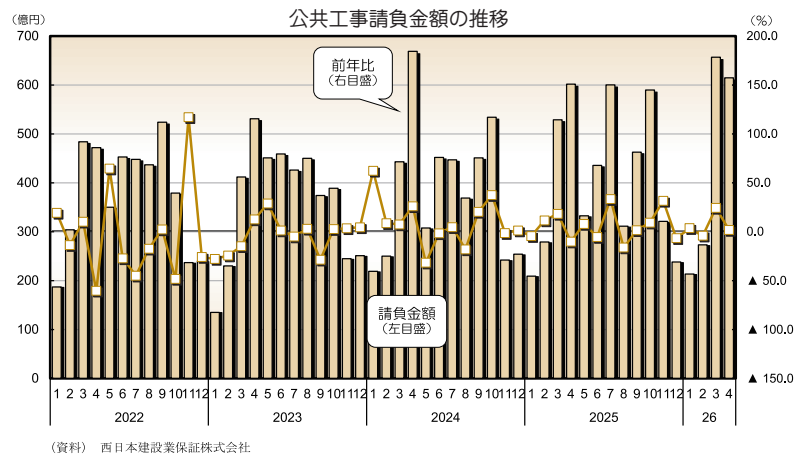
新設住宅着工戸数は4ヶ月ぶりに前年比プラス（4月：前年比+20.5%）
（持家：同+33.6% 貸家：同+28.0% 分譲：同+5.3%）

新設住宅着工戸数の推移

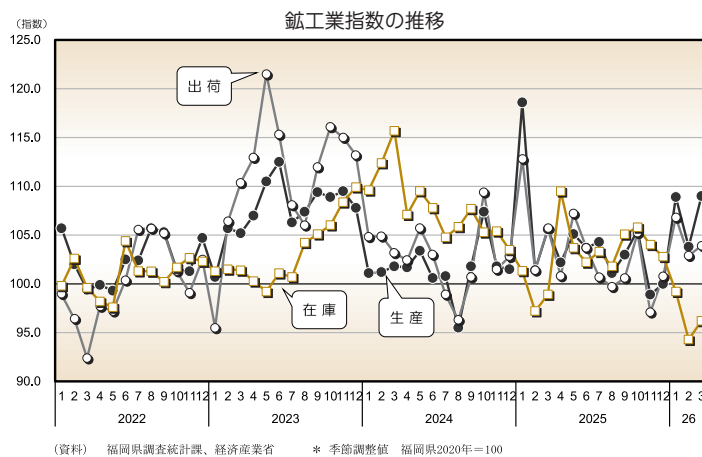


（資料）国土交通省

公共工事請負金額は2ヶ月連続で前年比プラス（4月：前年比+1.8%）



鉱工業生産指数は2カ月ぶりに前月比プラス(3月:前月比+5.0% 季節調整値)



輸出額は5ヶ月連続で前年比プラス（4月：前年比+5.1%）

